

製品名: CNG-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09115**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	80kDa

抗原情報

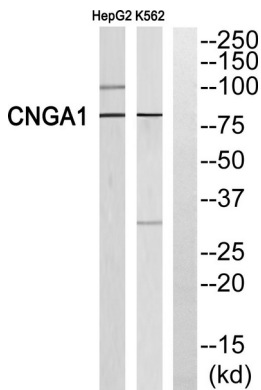
遺伝子名	CNGA1 CNGA1; CNCG; CNCG1; cGMP-gated cation channel alpha-1; Cyclic nucleotide-gated cation channel 1; Cyclic nucleotide-gated channel alpha-1; CNG channel alpha-1; CNG-1; CNG1; Cyclic nucleotide-gated channel; photoreceptor; Rod photoreceptor cG
別名	
遺伝子 ID	1259.0
SwissProt ID	P29973
免疫原	抗血清はヒト CNGA1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 401-450

背景

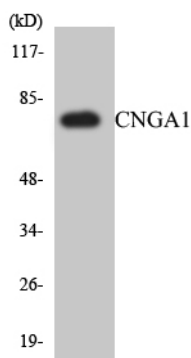
この遺伝子によってコードされるタンパク質は光情報伝達に関与しています。このタンパク質は別のタンパク質とともに、細胞膜に cGMP 依存性陽イオンチャンネルを形成し、桿体光受容体の脱分極を可能にします。これは光情報伝達経路の最終段階です。この遺伝子の欠陥は、網膜色素変性症常染色体劣性疾患 (ARRP) の原因となります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2008 年 12 月],注意: Met-1 と Met-5 のどちらがイニシエーターであるかは不明です。、疾患: CNGA1 の欠陥は、網膜色素変性症常染色体劣性疾患 (ARRP) [MIM:268000]の原因となります。RP は網膜光受容体細胞の変性を引き起こします。患者は通常、夜間視力低下と中周辺視野欠損を呈します。病状が進行するにつれて、遠方周辺視野が失われ、最終的には中心視力も失われます。、機能: 視覚シグナル伝達は、cGMP をセカンドメッセンジャーとして用いる G タンパク質共役カスケードによって媒介されます。このタンパク質は環状 GMP によって活性化され、陽イオンチャンネルを開口させ、桿体光受容体の脱分極を引き起こします。、オンライン情報: Retina International's Scientific Newsletter,類似性: 環状ヌクレオチド依存性陽イオンチャンネル (TC 1.A.1.5) ファミリーに属します。、類似性: 1 つの環状ヌクレオチド結合ドメインを含みます。、サブユニット: ホモテトラマーまたはそれ以上のオリゴマー。CNG4 とヘテロオリゴマー複合体を形成します。、組織特異性: 網膜の桿体細胞。、

研究分野

画像データ



CNGA1 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは CNGA1 ペプチドでブロックされている。



CNGA1 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。

CNG-1 ポリクローナル抗体を用いた HepG2 細胞のウェスタンブロット解析

